

表1 業種別（前年比較）

()内は死亡（内数）

労働者死傷病報告（休業4日以上之死傷災害）により作成（ ）内の数値は死亡者数（内数）を表す

新型コロナウイルス感染症のり患者数を除く

兵庫労働局

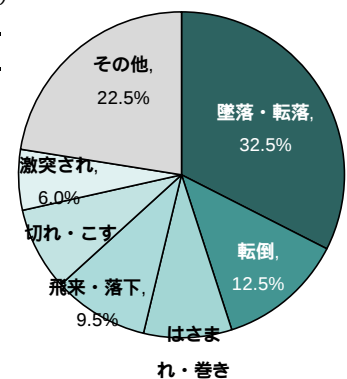
業 種	令和 6 年 (1 月 ~ 12 月)		前 年 同 期		前 年 比 較	
	死傷者数 (人)	構成比 (%)	死傷者数 (人)	構成比 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
全 産 業	5,222 (31)	100.0% (100.0%)	5,278 (25)	100.0% (100.0%)	-56 (6)	-1.1% (24.0%)
製 造 業	1,059 (7)	20.3% (22.6%)	1,140 (6)	21.6% (24.0%)	-81 (1)	-7.1% (16.7%)
建 設 業	400 (9)	7.7% (29.0%)	438 (8)	8.3% (32.0%)	-38 (1)	-8.7% (12.5%)
陸上貨物運送業	630 (4)	12.1% (12.9%)	625	11.8% ()	5 (4)	0.8% (-)
農 林 業	80 (2)	1.5% (6.5%)	52 (1)	1.0% (4.0%)	28 (1)	53.8% (100.0%)
上 記 以 外	3,053 (9)	58.5% (29.0%)	3,023 (10)	57.3% (40.0%)	30 (-1)	1.0% (-10.0%)

表2 事故の型別

表中の数字は人数、 ()内は死亡(内数)

建設工事・事故の型別	死傷者数	(土木工事)	(建築工事)	(その他の建設)
墜落・転落	130 (4)	19 (1)	67 (2)	44 (1)
転倒	50	10	26	14
飛来・落下	38	10	15	13
倒壊・崩壊	12 (2)	6 (2)	5	1
激突され	24	7	7	10
はさまれ・巻き込まれ	35	10	9	16
切れ・こすれ	33 (1)	6 (1)	20	7
高温・低温の物との接触	8	2	4	2
交通事故	12 (1)	3	5	4 (1)
上記以外	58 (1)	12	30 (1)	16
合 計	400 (9)	85 (4)	188 (3)	127 (2)

グラフ 事故の型別



「墜落・転落」災害が最も多く発生しており、全体の32.5%を占めています。

表3 災害程度別

表中の数字は人数、 ()内は死亡(内数)

建設工事・災害程度別	4日以上 2週未満	2週以上 1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	6か月以上	死亡	計
土木工事	14	19	32	12	4	4	85 (4)
建築工事	39	26	69	41	10	3	188 (3)
その他の建設	17	31	43	29	5	2	127 (2)
合 計	70	76	144	82	19	9	400 (9)

休業1か月以上となる災害
が全体の63.5%を占めて
います。

表 4 年 齡 別

表中の数字は人数、()内は死亡(内数)

建設工事・年齢別	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
土木工事	3	11	13	17 (2)	24 (1)	13 (1)	4	85 (4)
建築工事	5 (1)	36 (1)	30 (1)	28	50	20	19	188 (3)
その他の建設	1	23 (1)	20	19	28	26 (1)	10	127 (2)
合 計	9 (1)	70 (2)	63 (1)	64 (2)	102 (1)	59 (2)	33 (0)	400 (9)

60歳以上の
高年齢労働
者が全体の
23.0%を占
めていま
す。

建設業における死亡災害発生状況（兵庫県内）

兵庫労働局安全課

令和 6 年統計（確定） 死亡災害報告によるデータ（把握順）

件数	災害発生		業 種	事故の型	起因物	発生状況概要
	月	時間	小分類	分類項目	小分類	
1	3	11時台	その他の土木工事業	崩壊、倒壊	地山、岩石	私鉄線路沿いの法面の石積みを補強する工事において、擁壁の基礎部分として打ち込まれた杭周辺の土を整備する作業をスコップを用いて 2 名の労働者が行っていたところ、法面の石積みが崩壊し、1 名は左脚が土砂に埋まったが、別の 1 名が全身が土砂に埋まって死亡した。
2	3	9 時台	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事	墜落、転落	足場	被災者は足場最上段にクランプを運んだ後、作業指示者へ次の指示を聞くために近づいたところ、足場ステージ上に荷揚げ用に設けられた開口部に気が付かず、約 2.5 m 下まで墜落したものの。
3	4	11時台	土地整理土木工事業	墜落・転落	締固め用機械	宅地造成地において、被災者は現場内の工事用仮設道路をロードローラー（締固め用機械）を運転して別の転圧作業場所へ移動中、下り坂（傾斜約 16 度）に差し掛かった時、左前輪が法肩から脱輪し、高さ約 3.5 m（法面長さ 7 m）勾配 30 度の傾斜からロードローラーと共に転落し、運転席から投げ出され、被災したものの。
4	6	9 時台	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事	墜落・転落	建築物、構造物	スーパーマーケットの跡地において、電柱（高さ約 10 m）の根元から約 50 cm の位置に亀裂が認められたため、事業主及び労働者 2 名で当該電柱の撤去作業を開始した。被災者が電柱に登り、重機で電柱を引き倒すためのワイヤーを電柱の頂部付近に取り付ける作業をしていたところ、亀裂部分から電柱が折れ、命綱を電柱に取り付けていた被災者は地上約 6 m の高さから電柱と共に地上に墜落したものの。
5	6	13時台	電気通信工事業	墜落・転落	はしご等	被災者は、高所にあるテレビ引き込み線を切断するため、地上 6 m 以上の位置に張られたワイヤーに移動はしごを立て掛け、地上から約 4 m の位置まで上り、はしごの踏み桟を足場代わりとして、立った姿勢で引き込み線を切断していたところ、体勢を崩し、地上に墜落したものの。
6	6	1 時台	電気通信工事業	交通事故（道路）	トラック	不具合が発生した道路上の開閉器の改修工事において、配電柱上の昇圧器を止める作業の準備のため、片側 2 車線の道路に作業車 2 台を縦列に駐車し、周辺にラバーコーンを設置していたところ、後方から走行してきた 2 トントラックが警備員の誘導に従わず、駐車中の作業車及び被災者に接触し、当該トラックの貨物庫のノブに被災者の墜落制止用器具のランヤードが引っ掛かり、約 40 m 引きずられたものの。
7	9	14時台	上下水道工事業	崩壊、倒壊	地山、岩石	交差点内にかかる下水道管布設工事において、約 2.5 メートル四方、深さ約 3 メートルの立坑内で作業員 3 名が作業を行っていたところ、工事のため切断した水道管からの水により湿潤した掘削面が崩壊し、立坑内に土砂が流入した。そのため作業員 2 名が土砂に埋まり、内 1 名が翌日死亡したものの。
8	10	9 時台	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事	感電	送配電線等	工場建屋の外周に設置した足場の解体作業のため、被災者が建屋の屋根上で足場の建地材を取り外そうとしたところ、建屋への引込線（活線 100 ボルト）の被覆が剥がれ、導体に右上腕部が接触し、感電したものの。
9	10	10時台	土地整理土木工事業	切れ・こすれ	その他の一般動力機械	被災者は、エンジンカッターを用いて、地面に置かれた U 字フリューム（コンクリート製の U 字溝）の切断作業を行っていたところ、エンジンカッターの刃が跳ね返ったことにより、被災者の左頸部に刃が接触し、切創部から出血したため死亡したものの。